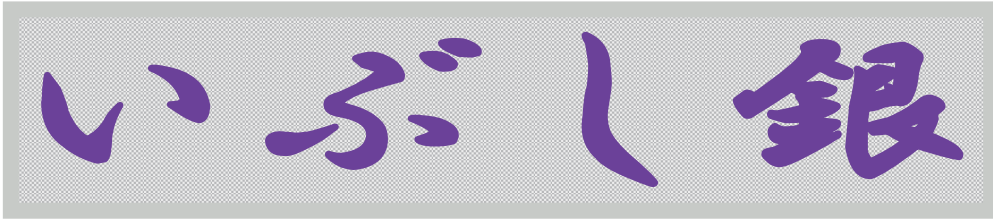


国立市シルバー人材センターニュース

第190号



発行：公益社団法人国立市シルバー人材センター ・ 編集：広報委員会
 住所：国立市富士見台 2-38 ・ TEL：042-577-0919 ・ FAX 042-575-7288
 E-mail：kunitachi@sjc.ne.jp ・ URL：http://webc.sjc.ne.jp/kunitachi/index



あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、シルバー人材センターの抱える課題について、加藤広報委員長が林会長にお話をうかがいました。



会長 林 俊一郎

加藤：全国的にシルバー会員の高齢化が言われていますが。

会長：会員の高齢化が、時代の流れでシルバーに与えられた重い課題です。国立市の新入会員の平均年齢は71歳ですが、雇用延長で70歳まで雇ってくれる企業が増えてきています。とは言え、60歳で定年を迎え、その後はシルバーしか働く場所がなかった頃と比べると、高齢者の労働環境はよくなりましたといえるでしょう。

加藤：シルバーの目的は「就業を希望する高齢者に仕事を提供することです。から、高齢であってもシルバーを望む会員に仕事を紹介できることが力になりますね。

会長：国立市のシルバー会員の

平均年齢は76歳ですが、その年齢に合った仕事を探せばいいわけです。シルバーに期待する社会的ニーズもあります。多少時間が掛かってもいいから、安く満足のいく仕上げにしてほしいという仕事があります。例えば植木の剪定や障子の張替えなどシルバーの力を発揮しています。しかし、こうした仕事を継続するには、若い体力のある会員を確保する必要もあるでしょう。

加藤：私の家でも先日、シルバーに扉を直していただきましたが、メーカーに頼めば数十万円以上するところを、1万円ちょっとで済みました。小修繕などではなくてはならない存在です。会員数の減少についてはどのように

会長：それも雇用延長の影響でしょう。現在の会員数が約500人ですが、30年前と比べて約1割減っています。65歳で入会していた人が、71歳で入会するようになれば、会員としての在籍期間が短くなり、会員数も減少します。

加藤：なるほど。会員の高齢化や減少も、悲観せず前向きに対処することですね。最後に今年の抱負を。

会長：時代のニーズに対応した、人材の発掘と就業開拓ですね。AIが急速に進んでいます。AIが急速に進んでいるという「人」が支える就業開拓を進めるべく、会員・事務局が協力して、何か結果を残したいと思えます。

事故発生時の夜間・休日緊急コールセンター

☎ 04-2929-8282

平日：17時15分～翌8時30分
土日祝：終日

窓

「窓」では、主に役員の紹介やセンターの委員会等の活動報告をはじめ、センター事業の目的や理念をご紹介しています。

事業活動推進委員会

【くにたちウォーキング】

10月14日(月)、すっかり晴れ渡ったスポーツの日に第34回くにたちウォーキングが開催されました。定員を超えるたくさんの方々が参加されました。このイベントの主催は国立市スポーツ協会。国立市シルバー人材センターは協賛として参加しました。会長はじめ理事、委員の皆さんがシルバーはうす105で、イベントに参加した市民の皆さんにアンパンと同センターの広報資料をお配りし、同セ



シルバーはうす 105 でのアンパン配り

ンターのPRに努めました。とても良い天気で気持ちのいい一日でした。

【ニシアツとEXPO】

10月17日(木)10時30分～16時。八王子会場は東京たま未来メッセでした。参加者は、布布の会のメンバー5人。会場まで事務局の宮田さんの運転です。今回は、ロックミシンの実演をしましょうと言う事で、色々な布を用意しました。お客様にお好きな柄を選んでいただいて、その場でロックミシンで裁断して差し上げました。皆様大変喜んで下さいました。国立市シルバー人材センターとして少しは宣伝になったかと思えます。ホールの方ではゲストの方を招いています。今回は楠田枝里子さんでした。次回は皆様も是非足を運んでみて下さい。



ロックミシンの実演

【環境フェスタくにたち】

10月19日(土)「環境フェスタくにたち」の一環として無料包丁研ぎコーナーに事務局2名、受付担当2名、包丁研ぎ担当3名で参加しました。

受付開始前にはすでに大勢の方が並んでいました。刃こぼれなど不具合で研ぐことが出来ない包丁も何本もあり、また告知を知らず受付後にお持ちになった方も数名いらっしゃいました。

当日は暑さの中、研ぎ担当の方はフル回転で大変だったと思いますが、綺麗によりがえった包丁を手にして皆さん喜んで帰っていかれ、私たちも嬉しく思いました。

事前予約受付分85本の返却、そして当日受付分50本を午後3時までには無事お渡しする事ができました。

【秋の市民まつり】

11月4日(月・祝)に開催。当日は事業活動推進委員7名全員と布布の会5名、会長と職員4名が参加しました。8時に集合し、テント、テーブル、椅子を用意、シルバー人材センター広告用チラシ、マスクを1500セット配布しました。布布の会が作製した手作りの売上も好調でした。市民まつりの実行委員としてトイレ整備担当の水くみ、クリーンパレード、弁当の調達など男性の方には、体力的に協力をお願いしました。

後日の反省会で、実行委員の協力で成り立っていると感じました。



手芸品の展示準備中

【クリーン多摩川国立の集い】

11月17日(日)午前10時より、多摩川河川敷にて「第75回クリーン多摩川国立の集い」が開催されました。当日は天候に恵まれ、今回は国立市シルバー人材センターから15名の参加となりました。

市長他関係者の挨拶後、サッカーグラウンドから石田大橋まで河川敷に落ちている様々な「ゴミ」を、皆と汗をかきながら鉄バサミで回収して回りました。

ひととおり回収作業が終わり、恒例の「うどん」の振る舞いサービスを受け、皆で青空の下で快適なひと時を過ごしました。

この「クリーン多摩川国立の集い」は年2回の行事ですが、来年も社会奉仕の一環として積極的に仲間と参加しようと思えます。

安全管理委員会

【転倒予防講習会開催報告】

12月11日(水)、午後2時から東海大学名誉教授の川向妙子先生を講師にお迎えして福祉会館4階大ホールにおいて、参加会員25名と共に開催されました。

今回は、特に「脳」を活性化するためのトレーニングで転倒を防ぐ体づくりの講習を受けました。

イスに腰かけて足を持ち上げる運動。背筋を伸ばす動きなど自宅でも可能なトレーニングです。

続いて、体全身で表現するじゃんけん「グー」「チョキ」「パー」の運動で、考えながらぎこちなく動く脳活性の体操でした。

さらに、大きな声で「右!」と言って左に動く、「左!」と言って右に動く。



「前!」と言って...「後!」と言って...。頭と体が混然として、思い通りにならない動きを実感しました。最後はイスに腰かけて、息を吐きながら全身の力を

抜いて、思いつき前屈みになりま

す。そして、腰に力を溜めて、ゆっくりと起き上がる動きを数回くり返します。

これは、筋肉の収縮が血管の伸び縮みとなって血液の循環を良くする効果があり、柔軟な体づくりが出来るそうです。

今回の講習会で学んだ、転びにくい瞬発力を身につける事が大切だと思います。

【交通安全講習会 開催のお知らせ】

- 日時 令和7年2月7日(金) 午前十時～正午
- 場所 くにたち福祉会館 4階大ホール
- 講師 立川警察署 交通課職員
- 定員 50名
- 対象 全会員
- 申込 1月31日(金)まで締切 先着順

安全標語の御礼

安全就業標語をご応募くださった会員の皆様、誠にありがとうございました。優秀作品を次号で紹介する予定です。

福祉サービズ委員会

【調理講習会開催報告】

11月15日(金)くにたち福祉会館3階にて家事援助・育児支援の就業会員の方々を対象に、簡単においしくできる調理法を学び、就業に生かしていくことを目的に、実施いたしました。

手際よくこなす会員さん達の身のこなしに感心させられ、あつという間にお料理が完成いたしました。

楽しく、おしゃべりしながらおいしくいただくことができました。

講師の会員さんには、お買い物からご協力があり、調理作業等のアドバイスをいただきながら、メンバー全員で和やかに協力し合い、実施することができました。



【整体運動開催報告】

第2回目の整体運動を11月13日(水)に開催し、15人が参加しました。前回は歩くことが中心でしたが、今回は筋トレとストレッチ。腹筋や背筋、足の筋力を数種類、教えていただきましたが、特長はつらくない筋トレであること。例えば腹筋というと、頭の後ろで手を組んで起き上がる動作を思い浮かべますが、それは最も苦しい腹筋で、胸の前で手を組んで頭と肩を起すだけでよいとのこと。これならだれでも10回はできます。

また、膝が痛いので足を引きずるよううにして歩く方がいたのですが、講師の指示に従い2〜3分間ストレッチをしてお尻の筋肉などをほぐすと、ほとんど足を引きずらずに歩けるようになりました。ただし、その状態を維持するには毎日のストレッチと隔日の筋トレ

が必要とのこと。来年度の整体運動の日まで、講師の指示通りに毎日必ず体を動かそうと、堅く心に誓いました。



令和6年度
上半期実績報告

【事業状況】

令和6年度の上半期では、公共事業においては、自転車保管業務等の縮小や、民間事業でのNHK学園関係業務、植木剪定業務などの業務減により、上半期の契約金額（配分金、材料費及び事務費の合計額）は、135,011,621円で、前年度に比べ金額で3,397,718円、率にして2.5%の減となった。また、配分金は、117,032,830円、前年度に比べ4,962,048円、率にして41%の減額となった。配分金単価等の引き上げがあったものの、通常の事業の縮小や、民間事業の受注が伸び悩んだものである。

【会員の状況】

上半期の会員は、入会者40人、退会者32人で、令和6年3月末日から、8人増加している。

期間：令和6年4月1日～令和6年9月30日

〈令和6年度上半期事業実績報告表〉

職 群	仕事の内容	受託件数	登録別会員数	就業延日人数	配分金額(円)	契約金額	
						(円)	(前年比%)
1.技 術	経理事務など	13	34	27	77,465	115,880	(-14.4)
2.技 能	大工、塗装、襖はり、植木など	687	47	2,471	14,162,370	19,225,749	(-13.5)
3.事務整理	一般事務、筆耕、宛名書きなど	30	61	367	2,175,357	2,326,856	(-25.8)
4.管 理	建物管理、施設管理、駐車場・駐輪場管理、物品管理など	105	151	7,702	46,204,523	49,725,072	(-1.4)
5.折衝外交	集金など	0	7	0	0	0	(0)
6.一般作業	清掃作業、除草、屋内外作業など	1,135	102	7,573	29,975,537	33,293,496	(-6.1)
7.サービス	市報配布、学校開放、福祉家事援助サービス、育児支援サービスなど	518	99	10,933	24,437,578	30,324,568	(+12.1)
8.その他	集会所など	0	0	0	0	0	(0)
合 計		2,488	501	29,073	117,032,830	135,011,621	(-2.5)

令和6年10月～12月理事会協議報告

【第7回理事会 10月22日】

- ①入会希望者 男性6名 女性2名
- ②会長・副会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
- ③令和7年度管理運営にかかわる予算案の提出について
- ④就業規約の一部改正について

—すべて承認—

【第8回理事会 11月26日】

- ①入会希望者 男性5名 女性5名
- ②令和6年度中間監査の報告について
- ③会費規程の一部改正について
- ④職員の採用に関する規定の一部改正について
- ⑤職員退職金支給規程の一部改正について

—すべて承認—

【第9回理事会 12月24日】

- ①入会希望者 男性0名 女性0名
- ②公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に定める公益認定基準に係る照会について

—すべて承認—

※詳細については、シルバーはうす105に理事会議事録を置いておりますので、ご自由にご覧ください。

【フードドライブにご協力いただきありがとうございました】

昨年11月8日(金)から11月29日(金)まで募集していたフードドライブですが、会員4名の方より、うどん、パスタ、珈琲、食用油、調味料(ソース・めんつゆ)など様々な食材等22点を提供していただきました。また、茨城県ひたちなか市シルバー人材センターより購入した米もあわせて国立市社会福祉協議会様に納めさせていただきました。ご協力ありがとうございました。



フリーランス法が施行されました

事務局からのお知らせ

令和6年11月にフリーランス法が施行されました。

この法施行に伴い、業務の請負において、会員と発注者の直接的な請負・委任契約関係が結ばれることとなります。このためセンターは、請負業務の内容や配分金の額などを会員に「会員就業条件明示書」として事前に提示する必要があるため、スマイル・トゥ・スマイル【smile to smile】に明示しています。配分金の内容については、これまで同様、メール通知をご確認ください。

なお、スマイル・トゥ・スマイルの登録がお済でない方は、登録をお願いいたします。

～就業現場から～ Vol.13

ふすま・障子・網戸の張替え業務

仕事の内容は……

ふすま・障子・網戸の張替えです。注文があるとお宅に取りに行き、作業所（矢川駅南口）で張り替えてお届けします。障子や網戸は午前中に取りに行き、午後には直してお届けします。ふすまは乾くのに時間がかかるので、2日後になります。ふすまと障子の注文は減りましたが、網戸は一定数のニーズがありますね。作業は4人全員で行いますので、注文がある程度まとまったら仕事にかかります。

この仕事の経験は……

1人は経験者ですが、他の3人は未経験でした。ただし、昔は障子や網戸は自分で張り替えていましたから、全くの未経験ではありません。また、ふすま班に入ると、全員が東京しごと財団で研修を受けます（注。従事者全員が財団の研修を受講する職種は、植木や筆耕など限られています）。

この仕事の難しいところは……

特殊な製品を扱う時です。例えばふすまで「源氏」というのがありますが、これはふすまの中にガラスが入っています。ガラスを外して張り替えますが、古いものですとねじが動かなくなっていて、ガラスが外れません。外さずに張り替えるのは難しいですね。古くなって作業が難しくなる例は、他に天井が下がっていることがあります。意外に多いんですよ。そのままではふすまを外せないで、ジャッキに丸太をかまして天井

シルバー人材センター設立直後からある仕事の一つが、ふすま等の張替えです。森久保進会員、佐藤啓治会員、大藏眞美子会員、長法夫会員の4人の会員の方にお話をうかがいました。

を上げて外します。直して取り付ける際は、ふすまの底を削って入れます。

困るのは……

ひとつは雨です。特にふすまは天気が良くないと乾かないので、梅雨などで雨がずっと続くと困ります。もう一つ、使わなくなった子ども部屋などでは物置のようになっていたり、2階にある障子などを下す際に、階段に物がたくさん置かれていると困ります。特に一軒家はストレートな階段が少ないので苦勞します。

作業所があっという間です……

4年前に今の場所に移りました。少し狭くなりましたが新築です。網戸は外でもできますが、ふすまや障子は少しの風でも作業ができなくなりますから、場所が必要ですね。空調機の風もダメです。

料金は……

相場より2割から2割5分安いようです。それでも網戸などのサイズが小さいと安くならないのか、というお客様が時々いますね（笑）

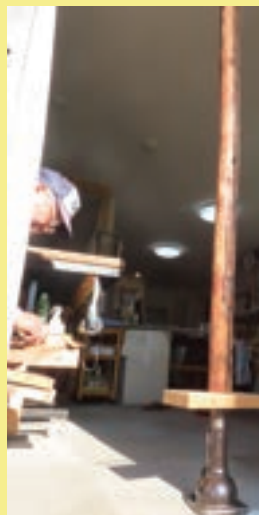
（大藏会員に対して）女性会員は珍しいのでは……

初めてではないそうです。私は切ったり張ったりする作業が面白いのと、今までしてこなかった仕事をしてみたいと思い応募しました。実際にやってみて、集中しながら手先を動かすことが好きなので、面白いです。また、他の会員の方は皆さん職人で、親切に教えてくれますし。

取材を終えて：非常に和気あいあいとした雰囲気での4人でした。なお、この作業所は土曜日・日曜日は作業をしていませんが、土日開放に向けて現在準備中です。（取材：加藤登志雄：12月2日）



障子の張替え、緊張します



下がった天井をジャッキアップ



作業所の前で 左から森久保・佐藤・大藏・長会員

ふるさとだより

VOL.15

大好きな町 大阪

西1班 松原正子

私は昭和二二年に大阪府堺市浜寺公園町で生まれました。当初は祖父の家の離れに家族五人で住んでいましたが、幼稚園に入る頃、近隣の高石町（現在の高石市）に引っ越しました。以来結婚して東京に出るまでの二六年間をその家で過ごしました。住所こそ高石に変りましたが、私の中では、高石町と浜寺公園町が一つになっています。

地名にもなっている浜寺公園は明治六年に作られた大阪湾沿岸の堺市・高石市に広がる広大な公園です。古くから白砂青松の地として知られ砂浜には五千本を超える松林が続いています。明治三十年には鉄道の駅が作られ、木造平屋建てのハーフティンバー様式とい

う美しい駅舎が建てられました。この珍しい駅舎の事は幼心にも良く覚えています。現在の南海本線浜寺公園駅です。この界隈はかつて有名な別荘地で、公園や海水浴場など、避暑地として開発されたようです。

戦後間もない頃で、公園の端には進駐軍の宿舎が建ち並び、芝生にはフェンスが張り巡らされていました。時折見かけるアメリカ人は真冬でも半袖シャツ一枚でした。私は火鉢一つの家で寒さに震えて厚着でしたから、本当に驚いたも



浜寺公園駅旧駅舎
(写真提供：堺観光コンベンション協会)

のです。当時は公園に入れなかったの、海岸に出るための太鼓橋が架けられていました。夏になると、その橋を渡って家族総出で海水浴や花火大会に出かけました。盛大に打ち上げられた花火は迫力満点でもとてもきれいでした。弟は禪を締めて、海で行われる水練学校（今でいうスイミングスクール）に通っていました。

浜寺公園には商店がほとんど無く、買い物はもっぱら御用聞きに頼っていました。そして、私達三人兄弟の遊びといえば、昭和三十年代に大流行した「ダッコちゃん」やフラフープ、ホッピングでした。やがて進駐軍の宿舎は無くなり、家の周辺には大阪府営団地が建ち始めました。学校にも団地の子が大勢通って来ました。私は団地が珍しくて何度か遊びに行きました。が、水洗トイレにビックリし、ちよつとうらやましかった事を覚えていています。

大阪の忘れられない思い出のひとつに「日本万国博覧会」があります。昭和四五年三月から半年間、吹田市の千里丘陵で開催された大阪万博です。万博会場までは自宅



浜寺公園の松林 (写真提供：高石市役所)

から一時間以上掛かりましたが、成人になっていた私は二十回以上も通いました。太陽の塔、アメリカ館、ソ連館、松下館、三菱未来館等、観るもの全てが面白く、毎回夢中で回りました。そして今年、再び大阪で万博が開催されます。今回はボランティアとして万博のお手伝いができるかもしれないのです。今からもうワクワク・ドキドキしています。ますます大阪が好きになりそうです。皆さんもぜひ大阪万博にお出かけください。

(聞き手：真野妙子)

会員の声

「会員の声」ではみなさんから投稿いただいたお仕事や地域班活動などの報告、旅行記、短歌、俳句、写真、絵画等の作品を掲載しています。

山歩きの魅力

眺望、仲間、命の大切さ

富士見台1班 K・S

私が国立に越してきたのは4年前。その理由は何かというところ街並みの美しさ、静かな環境、色々ありますが、一番の理由は高尾山に登るためです。それまで住んでいた都心から高尾山に近い街を探してたどり着いたのが国立だったのです。いまも週1、2回、必ず高尾山に登っています。

山への憧れが募り始めたのは岩手県の高中生時代。友人に誘われて地元の山へ登り始めたのですが、本格的に登山を始めたのは五十代の半ば過ぎから、世に山ガールという言葉が流行り始めたころからでした。以来、さまざまなお縁と導きで、月に数回の本格的な登山とトレーニングを兼ねての高尾山行きで山漬けの毎日、山の合間にシルバークの仕事をしているという感覚です。(笑)

山の魅力は何と見られても眺望です。そこでしか見られない尾根や雲海、沈みゆく夕日。



高尾山展望台から

【提供】(公社)八王子観光コンベンション協会

次にそこに集う仲間たち。山小屋で同じご飯を食べ、ともに肩を並べて眠り、同じ頂を目指す。苦労と感動をともしにする仲間たちへの共感は何よりの魅力です。そして危険と隣り合わせの山に登って下山してきたときに感じる命の大切さ、しみじみと喜びを感じます。いままでで一番印象的な山、それは御嶽山です。最初は行く予定ではなかったのですが、欠員が出て誘われて登ることになったのです。この山ではかつてその噴火で

沢山の方が亡くなりました。修行の霊山としても有名で独特の雰囲気があり、山の景色も神秘的で、いままででない登山経験だったと思います。

最後にみなさんにお勧めの山、それはやはり高尾山ですね。なかでも稲荷山コースがいいでしょう。木漏れ日の中を歩いて山頂まで2時間ほど、途中で景色のいい展望台もあり、変化にとんだ山歩きが楽しめます。友人や家族に声をかけて今度の日曜日にかがでしようか。(聞き手：竹山文士)

植木班による

社会奉仕活動

谷保1班 瀬戸 修

昌泰四年(九〇一年)菅原道真公が大宰府に左遷されました。その時、三男道武公は谷保の地へ配流され、延喜三年(九〇三年)道真公が逝去されると、道武公は父を偲び、父の像を刻み祀った。これが谷保天満宮の起源だそうです。その谷保天満宮の梅林の草刈りを行いました。

9月7日(土) 8時。植木班の10名がトラック2台に刈払機、掃除道具を積んで梅林に集まりました。道具を下ろしてまず下見。そしてKY(危険予知)活動。今回は刈払機を使うので、作業



者の15m以内に近づかない、合図応答の徹底、常に周辺状況の把握、茶店、車両に跳び石等が当たらないようにネットを張る…全員で確認後「ご安全に!」の発声で作業を開始しました。熱中症対策として、各自、自由給水と自由休憩。2度の全体休憩時は、天満宮からお茶とお菓子を頂きました。猛暑の中全員で頑張り、12時過ぎには作業終了。約三五〇本の梅の木の中、石碑が引き立って見えるようになりました。綺麗になった空池の向こうの小さなお宮にも参拝される方々が…由緒ある天満宮での作業が無事終了し、ちょっと誇らしい気分になりました。



シルバーはうす 105 通信 VOL.22

Smile to Smile にご登録ください

Smile to Smile は、
月々の配分金明細や講習会、
就業情報などを、会員の皆様へ素早く
タイムリーに提供するサービスです。
必要なときにいつでもパソコンや
スマートフォンで明細が確認できる
便利な Smile to Smile。
是非この機会にご登録ください。
なお、配分金明細書が書面で必要な方は
事務局窓口でお渡しできますので、
都度お申し出ください。

— 配分金支払い証明書について —

令和6年1月から12月まで就業した配分金の配分金
支払い証明書は令和7年1月下旬に圧着はがきにて送付
いたします。

就業して受け取る配分金は、一定額を超えると確定申
告が必要です。詳細は税務署へお問い合わせください。
また、配分金には消費税が含まれております。

布布布の会はお蔭様で3年目を迎えました。お直し・
小物作り等多種多様のご依頼に応じています。メン
バーは13人、その内お直し担当は7名です。令和6
年の10月までのズボンの裾上げ、袖の丈詰め等のお
直しは月平均13件、総売り上げ150,000円位です。

他にさくらフェスティバル、市民まつり等の小物販
売95,000円位になりました。

洋裁に興味のある会員の方、ミシンを教わりたい方、
布布布の会のお仲間になりませんか？

連絡先 事務局 042-577-0919

シルバーはうす 105 の掲示
板の季節ごとに変わる折り紙
の作品を、楽しみに拝見して
いますと散歩途中の方に声を
かけていただきました。気づ
いていただきありがとうございます。
会員の皆様もはうす
に見に来て下さいね。



新規会員を
募集しています

令和6年度の新規会員入会
説明会は、毎月第3金曜日に
開催いたします。

◇日時 1月17日(金) 14時から

2月21日(金) 10時から

3月21日(金) 10時から

◇会場 くにたち福祉会館
3階 小会議室

◇当日必要なもの
・年会費 2千円 (10月より千円)

・印鑑 (認め印)

・ゆうちょ銀行の通帳

・本人が確認できる証明
(健康保険証等)

◎入会手続き後、承認決定を
もって、会員となります。

◎インターネットでも入会の
申し込みができます。

シルバー人材センターUR
L、QRコード(1頁に記載)
から手続きをしてください。

※ご不明な点は、事務局へお
問い合わせください。

0577-10919

令和7年 1月20日(月)
配分金支払予定日

2月14日(金)

3月14日(金)

会員の在籍状況 (12月25日現在) (単位:名)

地域名	在籍数	地域名	在籍数
北 1 班	41	中 1 班	45
北 2 班	19	西 1 班	54
東 1 班	26	谷保1班	45
東 2 班	36	谷保2班	34
富士見台1班	43	泉 1 班	44
富士見台2班	33	青柳1班	24
富士見台3班	34		
富士見台4班	41	合 計	519

編集後記



新年あけましておめでとうござ
います。
昨年十月よりハガキ等の値上
がり、年賀ハガキのお求めは
いかがでしたでしょうか。
昨今では携帯での年賀挨拶、
時代の相違でしょうか。年賀状
には温かみがあった様な気がし
ます。皆様はどうお考えでしょ
うか。
本年も皆様方のご健康とご多
幸をお祈り申し上げます。
会員の皆様からのご投稿を心
よりお待ちしております

広報委員 山本美智子